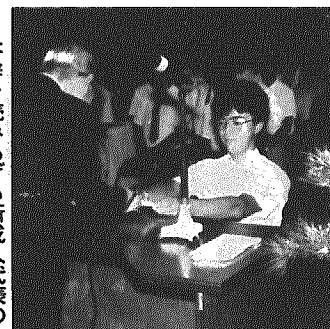


▲新成人は 108人

▼若林先生の記念講演



答辭を読みあける新成人代表の
小松 彰さん

大人への旅立ち

今年も先月15日、公民館講堂で「真夏の成人式」が開かれ、参加した108人の若者は大人への旅立ちに誓いを新たにしていました。

式典の前には久しぶりに再会した友人同志、あちらこちらで近況を語りあうなどなごやか。

式典のあと前新潟市立栄小学校長若林栄さんの「二度とない人生だから」の記念講演があり、その後記念撮影。ついで自主事業の有志による同級会を岩室温泉の旅館で行い、友好を深めました。

9月の スポーツカレンダー

■問合せ…公民館(☎②4444)へ

大会結果

大会結果

したが、十二チーム二百人が参加。ハッスルプレーに珍プレーが続出——親子そろって楽しい一日を過ごしました。大会の結果は、優勝：夏井チーム、準優勝：金池チーム、三位…末広ナインズチームと油島チーム。敢闘賞が和納六区チームでした。

休館のお知らせ

■ 村民体育館

□ 今月二十九日(土)・三十日(日)
の両日は開放しません。
お間違えのないように

大会・教室名	開催日時	会場	対象	内容等
ジュニア スポーツ教室	9月5日～26日 毎週水曜日 午後 6:30～8:00	村民体育館	小学校5～6年生の女子	・ミニバスケット ・バドミントン
婦人 スポーツ教室	9月7日～28日 毎週金曜日 午後 7:30～9:15	村民体育館	20歳以上の婦人	・卓球 ・バドミントン
高齢者 ゲートボール教室	9月11日・25日 毎月第2・4火曜日 午前 9:00～11:30	村民野球場	60歳以上の人	・初心者対象の ゲートボール
定例 ボウリング大会	9月20日木曜日 午後 7:00～	弥彦 ラビットボウル	クラブ会員	・当日会場で 受付
秋季 少年野球大会	9月23日日曜日 午前 8:00～	村民野球場	少年野球チーム	

広報いわむろ / 昭和59年9月1日

青年県外研修——この研修は引率者を含めて五人という少人数だったが、行く前の事前研修もしっかりとやり、準備万端で臨みました。

初日は、秋田まで行くのに時間もかかり、オリエンテーションもあって、研修は夜に行われた講義だけでしたが、予定時間を延長するほど熱心なものでした。講義の内容は「秋田の産業と文化について」で、秋田県が県北、県南そして中央と分かれているという話から始まり、秋田市・男鹿市などの町の特色や問題点など色々な話がありました。

二日目は秋田市内の見学。美術館や千秋公園などを見てまわりました。やはり秋田の街は、新潟の街とはひと味もふた

いいのだろうか、などと事前に色々考へました。が、行ってみて他の人が経験できることをやらせてもらえたので、勉強になつたと思います。いろいろな所を目指させてもらいましたが、やはり大潟村の「広さ」には圧倒させられました。大潟村は、八郎潟中央干拓地に昭和三十九年十月にモデル農村として新設された村で、とにかく広く、また大きな農業用機械を使っていて、これまでになるには、私たちにはわからないほどの苦労が村の人たちにはあつたのだろうと思いました。秋田の青年団活動は本当に活発で、事前に連絡があつたわけでもないのに、私たちのために十二人の青年団の仲間が集まってくれたのです。みんな青年団活動



▲「秋田県の産業と文化について」の講義風景

古河を忘れる青年たち
との交流 : 石添 巧



▲大湯村にて

味も違つて、良かつた。その後、「秋田県の青年団体について」の講義を聞き、秋田の青年団体の活動は岩室村の青年団体活動より活発のようですが、幾つかの

問題をかかえ、大変のようでした。私は
村の青年団に入つていないので、活動に
ついてはあまり知らなかつたのですが、
これらの話を聞いて、“青年団体はどん
な活動をするのか”について多少わかり
ました。夜は秋田の青年たちと交流をし
ました。秋田の人たちは、本当にたくさん
集まつてくれました。交流は、自己紹
介から始まり、色々話し合いをするうち
に、打ち解けてきて、さらに話も進み、
時間なんて関係ない——という感じで交
流が続き、みんなと仲間になれました。
この研修旅行で一番思い出になつた研修
でした。

七月十一日から四日間にわたった県外研修の主なねらいは「秋田県の青年団活動についての研修」でした。

秋田県は体育馆やその地の公共施設が多く、また環境がすばらしく、そんな中で生活できるなんて、とてもうらやましいと思いました。

秋田の産業文化についての講義では、講師の方が予定時間を一時間も超過しながら続けてくださり、本当にうれしく思いました。

自分の村の青年団活動について何も知らない私が、このまま研修に参加しても

にいたくなき気持ちでした。

秋田の人たちは、みんな親切で、とても楽しんで研修に参加できました。一つ心残りだったのは、秋田の人たちと青年団についての話し合いでなく、自分の身近な事についても、ゆっくりと話してみたかったことです。

この秋田県での研修を終えて一人でも多くの人が岩室村の青年団体活動に、少しでも興味を持つてくれることを望んでいます。私もこれを機会に岩室村の青年団体活動について勉強をしてみてから、入ってみたいと思っています。

身出なれ」と云へても
ゆづること… 本田真寿美

動に熱心で、今回の派遣団員のうち私を含めて三人が、青年団に入つていないとを知り大変驚いていました。さすがに私もこの時ばかりは恥ずかしく、その場